

種類別明細書の書き方 (例)

「増加事由」の欄は、
 1 新品取得 2 中古品取得 3 移動による受け入れ 4 その他の
 いずれかに○印をつけてください。

注意事項

この用紙は、電子計算機にて処理をしますので、文字、数字等は、わかりやすくはっきりと記入してください。
 記入については、次の点に注意してください。

- 平成28年1月1日(賦課期日)現在の状況を記入してください。
- 増加・減少がない場合でもこの種類別明細書は提出してください。
- 資産の名称等の欄は、名称及び規格等を記入してください。
- 種類ごとに並べて記入してください。なお、異なった種類の間は1行空けてください。

平成28年度		種類別明細書 (増加資産・全資産用)										所有者名		枚のうち							
※ 所有者コード ※		記入する必要はありません。										(株) △△商事		枚目							
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額				耐用年数	減価残存率	価額		課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要	
					年	月	日	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円				率
01	1	1	アスファルト舗装	1	S	5	5	4	1	500	000	10	0.						1.2 3.4		
02	2	2	自動ウィンダー	1	S	5	8	10	3	500	000	10	0.						1.2 3.4		
03	2	3	織機	1	S	5	5	4	100	000	10	0.							1.2 3.4	H.27.3 廃棄 ◎減少した 場合	
04	6	4	タイムレコーダー	2 ⁽¹⁾	S	5	5	4	140	000	5	0.							1.2 3.4	H.27.3 1台廃棄 ◎一部減少 した場合	
05												0.							1.2 3.4		
06												0.							1.2 3.4		
07												0.							1.2 3.4		
08	2		織機	1	H	2	7	2	450	000	10	0.							1.2 3.4	①2 ◎新品取得 の場合	
09	2		自動ウィンダー	1	H	2	7	11	1	850	000	8	0.						1.2 3.4	1.2 3.4 ◎中古 資産である 場合	
10												0.							1.2 3.4		
11	6		コンピューター	1	H	1	6	7	330	000	5	0.							1.2 3.4	3.4 H27.4移動 ◎移動資産 である場合	
12												0.							1.2 3.4		
13												0.							1.2 3.4		
14												0.							1.2 3.4		
15												0.							1.2 3.4		
16												0.							1.2 3.4		
17												0.							1.2 3.4		
18												0.							1.2 3.4		
小計				5					5	240	000										
				6					7	700	000										

「資産の種類」の欄に記載する番号は下記のとおりです。
 1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬物 6 工具、器具及び備品

◎各種類の間は1行空けてください。